

夢だったプロ野球の世界へ



「大村出身のプロ野球選手は隅田と言ってもらえる選手を目指してがんばります。応援よろしくお願いします」と爽やかに話すのは、10月のプロ野球ドラフト会議で4球団から1位指名を受け、埼玉西武ライオンズが交渉権を得たことで話題となった、西大村中学校出身の隅田知一郎選手。

波佐見高校に進学し1年生の春からベンチ入りしますが、甲子園を目指す中、2年生で左肘の疲労骨折と、剥離骨折を経験。しかし、そこでくじけないのが隅田選手の強さ。もう一度マウンドに戻りたいという気持ちで半年間、冬場のトレーニングを耐え抜き、3年生の夏には甲子園出場を成し遂げます。けがを乗り越えた経験が、自身のターニングポイントになったと振り返る隅田選手は、「野球は人をつくるスポーツ」と表現し、大村の子どもたちにもぜひ野球をやってほしいと話していました。4球団から1位指名を受けたことについて、「自分の実力だけでなく、監督と二人三脚でがんばった結果です」と謙虚さも忘れません。今後の目標について、「1年目はルーキーとして失うものはないのでプロ野球の世界にぶつかっていき、日本代表を目指してまずはサムライジャンのユニフォームを着たい」と話してくれました。隅田選手の挑戦は、これからも続きます。

西日本工業大学

隅田 知一郎さん



クローズアップ

大村人

vol.38

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。

Profile

すみだ・ちひろ

平成11年8月20日生まれ
西大村小2年のときに軟式野球を始め、西大村中を経て波佐見高に進学。けがを経験するも3年時に夏の甲子園に出場。西日本工業大では1年の春からリーグ戦に登板し、通算42登板で14勝7敗、防御率1.96。左投左打。22歳。

